



プレスリリース: 2016年04月12日

トピック: サーバー/ストレージ/ネットワーク

最新のコンバインドフラッシュアレイとデータ保護システムによりエンタープライズ向けストレージポートフォリオを強化

2016年4月12日

日本ヒューレット・パッカード

日本ヒューレット・パッカード株式会社(本社:東京都江東区、代表取締役社長執行役員:吉田 仁志、以下 日本ヒューレット・パッカード)は本日、企業がオールフラッシュデータセンターのメリットを活用しつつ、リスクから自社を保護できるよう支援するため、ストレージポートフォリオの強化を発表しました。新たな製品は以下の通りです。

- ・「HPE 3PAR StoreServ 20840」コンバインドフラッシュアレイ
- ・「HPE StoreOnce 5500」およびマルチノード対応「HPE StoreOnce 6600」データ保護システム

統合、コスト削減、性能向上を通じ、オールフラッシュデータセンターは、IT予算を3分の1削減しつつ、ビジネスの俊敏性を向上できます(*1)。こうしたメリットを安全、セキュアかつ大規模で実現する上で、企業やサービスプロバイダーにとって必要なのは、マルチプロトコル対応と高度なデータ保護機能を備えたTier-1フラッシュストレージ・アーキテクチャです。

ヒューレット パッカード エンタープライズ(HPE)は昨年、フラッシュに最適化された「3PAR StoreServ Storage」ポートフォリオ全体を刷新し、業界最高性能記録を複数樹立するとともに、主要ストレージベンダーとしては唯一、市場シェアが8四半期連続で前年同期比増を達成しました(*2)。「HPE 3PAR」ファミリーの最新製品である「HPE 3PAR StoreServ 20840」コンバインドフラッシュアレイ(以下「3PAR 20840」)は、市場で最高の性能(*3)と最高の拡張性(*4)を備えたフラッシュアレイです。インフラの統合に伴うリスクの回避を支援するため、この「3PAR 20840」は、世界で最速かつ最も拡張性に優れたデータ保護システムである新型「HPE StoreOnce 6600」(*5)との緊密な連携とセキュアなマルチテナントに対応しています。

HPEのストレージ担当シニアバイスプレジデント兼ジェネラルマネージャーであるマニッシュ・ゴエル(Manish Goel)は、次のように述べています。「オールフラッシュデータセンターに必要なのは、フラッシュ専用ではなく、フラッシュ・ファースト(フラッシュを前提)のアーキテクチャです。3PARは、妥協のないエンタープライズクラスのフラッシュを実現可能な唯一のフラッシュプラットフォームです。これにより、当社は市場を上回るペースの成長を達成しており、すべての主要な競合他社からシェアを獲得しています。」

<性能、ワークロード対応、21ペタバイトまでの拡張性で業界をリード>

「3PAR 20840」は、8コントローラノードまで拡張可能で、99.9999%のアップタイムを達成できるよう開発されており、従来型ハイエンドストレージでは複数必要だったラックを統合し、CAPEXとOPEXを削減するのに理想的な製品です。本システムは、利用可能容量が最大21ペタバイト(*6)で、業界をリードするスループットにより最大320万のランダムリードIOPS(*7)を実現し、同クラスの他社製品と比較して、設置面積、消費電力、冷却要件が最大85%抑えられます(*8)。本システムでは大規模な拡張性、少ない設置面積、業界をリードする性能により、最も性能が要求されるワークロードやミッションクリティカルなアプリケーションの高速化を通じ、ビジネスの俊敏性が向上しており、他社オールフラッシュアレイに比べて23%の低価格化が実現しています(*9)。

コンバインドフラッシュアレイとして、「3PAR 20840」は混合メディアとマルチプロトコル対応を実現しており、ブロックとファイルのワークロードを柔軟に統合することで、設置面積とコストを大幅に削減できます。拡張性が向上した「HPE 3PAR File Persona」(*10)と新型8テラバイトのニアラインドライブにより、「3PAR 20840」は、フラッシュアプリケーションとともに低コスト単価が求められるアーカイブデータの統合を可能にします。これにより、設置面積、消費電力、冷却要件および管理オーバーヘッドが抑えられます。

「3PAR StoreServ 20000」ファミリーの大規模な拡張性が不要なお客様向けに、HPEは「3PAR 8450」の優れた価値の裏付けとして、SPC-1の結果を公表しました。これによると、同プラットフォームは他のすべての外部ドライブアレイとの比較で、「SPC-1™」の価格性能比部門で第1位を獲得しており、「SPC-1™」のIOPあたりコストはわずか0.23ドルとなっています(*11)。

<アプリケーションとフラッシュに統合可能なデータ保護機能を半分のコストで実現>

オールフラッシュの統合リスクを軽減するため、日本ヒューレット・パッカードでは、最も大規模かつフラッシュ中心の環境でも高いサービスレベルを維持可能なエンタープライズクラスの「HPE StoreOnce」システムの新製品群も発表します。

「StoreOnce」の新ラインナップは、同クラスの他社製品と比較し2倍の拡張性と3倍の性能を半分のコストで実現します(*12)。新製品の「HPE StoreOnce 5500」(以下「StoreOnce 5500」)とマルチノード対応の「HPE StoreOnce 6600」(以下「StoreOnce 6600」)は、オールフラッシュデータセンターのニーズに応えられるよう開発されており、容易な統合、柔軟な接続、アプリケーション連携に対応し「3PAR StoreServ Storage」からダイレクトにプラットフォームバックアップを実行可能です。このプラットフォームバックアップでは「HPE StoreOnce Recovery Manager Central」ソフトウェアによる「3PAR」との独自の統合により、従来

型のバックアップに比べて、VMwareやMicrosoft SQLなどのアプリケーションから、最大17倍の速度でデータを保護し、5倍の速度で復旧することができます(*13)。

新製品の「StoreOnce 5500」は、同クラスの他社製品に比べてバックアップ速度が33%高速化、2倍の容量(*14)を実現し、最大864テラバイトの拡張性を備え、大規模な統合環境でも、厳格なリカバリ時間とリカバリポイントの目標を達成できます。「StoreOnce 5500」は、論理容量のコストがGBあたりわずか0.02ドル(*15)で、アプリケーション中心の低価格なデータ保護に理想的なソリューションであるため、より高い管理能力、柔軟性、生産性を管理者にもたらしめます。

スケールアウトの「StoreOnce 6600」は、業界で最も高速かつ拡張性の高いデータ保護ソリューションであり、最も大規模かつミッションクリティカルなTier-1環境向けに設計されています(*16)。マルチノードの回復力や自動リスタート機能など独自の特長により、「StoreOnce 6600」は、毎時最大184テラバイトの速度で、最大1.7ペタバイトのデータを保護可能です。これは、同クラスの他社製品と比べ3倍の速度、2倍の規模に相当します(*17)。

<本日発表の製品>

製品名	希望小売価格(税抜)	販売開始日
HPE 3PAR StoreServ 20840 Converged Flash Array	53,356,000円～	販売中
HPE StoreOnce 6600 System	35,000,000円～	4月14日
HPE StoreOnce 5500 System	16,000,000円～	4月14日

*1: 「The IT Benefits of an All-Flash Data Center」、David Floyer著、Wikibon、2015年3月23日

*2: 上位ベンダー6社による、外付けストレージの売上シェアの前年同期比成長率に基づきます。「IDC Worldwide Quarterly Disk Storage Systems Tracker」2013年第4四半期～2015年第3四半期

*3: 下記URLの「20840」のSPC-2結果に基づきます。

http://www.storageperformance.org/benchmark_results_files/SPC-2/HPE/B00077_HPE_3PAR-StoreServ-20840/b00077_HPE-3PAR_StoreServ-20840_SPC-2_executive-summary.pdf

*4: 2016年3月時点の公開データに関するHPEの分析に基づきます。

*5: 2016年3月時点の公開データに関するHPEの分析に基づきます。EMC Data Domain 9500(EMCは現時点で業界最速かつ最も拡張性の高いバックアップシステム)の最大バックアップ速度が58.7TB/時、使用可能容量を最大864TBまで拡張可能なのに対し、「StoreOnce 6600」の最大バックアップ速度は184TB/時で、使用可能容量は最大1,728TBまで拡張可能です。

*6: 2016年下半期時点での8TBドライブを使用してサポートされる最大容量

*7: 下記URLのSPC-2の結果に基づきます。

http://www.storageperformance.org/benchmark_results_files/SPC-2/HPE/B00077_HPE_3PAR-StoreServ-20840/b00077_HPE-3PAR_StoreServ-20840_SPC-2_executive-summary.pdf

*8: 12PBのEMC VMAX 400K(90%のHDDと10%のSSDの混合)との比較

*9: 4つの20TB XブリックのEMC XtremIOオールフラッシュアレイとの比較

*10: 2016年2月時点での、8ノード・システム向けの「HPE File Persona」512TBによってサポートされる総容量

*11: http://www.storageperformance.org/results/benchmark_results_spc1_active/#spc1

*12: 公開データと米国の定価に関するHPEの分析に基づきます。EMC Data Domain 9500とData Domain Boostによるデータのバックアップ速度が58.7TB/時なのに対し、「StoreOnce 6600」と「StoreOnce Catalyst」を使用すれば、184TB/時でのバックアップが可能です。Data Domain 9500の使用可能容量が最大864TBまで拡張可能なのに対し、「StoreOnce 6600」の容量は、最大1,728TBまで拡張可能です。

*13: 2014年11月のHPの社内テストに基づきます。

*14: 公開情報に関するHPEの分析に基づきます。EMC Data Domain 7200とData Domain Boostによるデータのバックアップ速度が28.3TB/時なのに対し、「StoreOnce 5500」とCatalystを使用すれば、37.7TB/時でのバックアップが可能です。Data Domain 7200の使用可能容量が最大428TBまで拡張可能なのに対し、「StoreOnce 5500」の容量は、最大864TBまで拡張可能です。

*15: フル構成の「StoreOnce 5500」で論理容量に20:1の重複排除率を適用した場合の、米国での店頭価格の計算に基づきます。

*16: 2016年3月時点の公開データに関するHPEの分析に基づきます。

*17: EMC Data Domain 9500の公開情報に関する社内テストとHPEの分析に基づきます。

■ プレスルーム

<https://www.hpe.com/jp/ja/newsroom.html>

■ ストレージ製品写真ライブラリ

<http://h50146.www5.hp.com/info/newsroom/library/hpe/storage/>

#

文中の社名、商品名は、各社の商標または登録商標です。

■ お客様からのお問い合わせ先
カスタマー・インフォメーションセンター
TEL: 0120-268-186 (携帯、PHS: 03-5749-8279)
ホームページ: <http://www.hpe.com/jp/>
